

■デザイン新3回生「仮ゼミ」(長嶋)について■

デザイン学科・新3回生は、特例として「ビジュアルサウンド領域」と「インタラクション領域」の両方の学生が長嶋ゼミ(総合演習→卒制)に所属できる例外的運用の最終学年です。この2つの領域の新3回生が3回生前期「領域専門演習」の「仮ゼミ」として長嶋ゼミに参加する方法を整理紹介しておきます。COVID-19対応の遠隔「ZOOMによるWebゼミ会議」は毎週水曜日の10:40~12:00(最長)として既にスタートしていますので、お試しの「見学」も歓迎します。見学・参加の希望や質問は長嶋[nagasm@suac.ac.jp]にメールして下さい。

●ビジュアルサウンド領域の新3回生

ビジュアルサウンド領域は「映像」と「グラフィック/インタラクティブ」の2つのコースに完全に分離していますが、3回生前期「領域専門演習」では、過去にも事例がありました。両方の学生が長嶋「仮ゼミ」に参加できます。

「映像」コースの場合には、インタラクティブなデザインにも興味をもった学生が「準ゼミ」として議論に参加したり自主制作(支援)するだけで、長嶋は「領域専門演習」の制作/成績/単位には無関係となります。

「グラフィック/インタラクティブ」コースの学生は、4人の教員(佐井・日比谷・かわ・長嶋)がゼミ集合/指導の日時をずらしますので、最大4ゼミまで複数の仮ゼミに重複参加できます。過去には最後まで3つのゼミに参加して、「領域専門演習」の最終合評で3ゼミの作品を発表した学生がいました。こちらは単位となる「仮ゼミ」であり、長嶋も制作支援/評価します。後期「総合演習I」から長嶋ゼミを希望すれば「本ゼミ」となり、基本的に水曜2限に3回生/4回生/院生まで含めて一緒に行うゼミミーティングに参加するとともに、それぞれの制作を進めます。

●インタラクション領域の新3回生

インタラクション領域の3回生の場合、前期「領域専門演習」だけがちょっと変則的となります。長嶋はインタラクション領域のこの科目の担当ではないので、インタラクション領域の「領域専門演習」の成績評価には関係しません。ただし後期からの本ゼミ参加の可能性を留保して長嶋「仮ゼミ」に参加することは歓迎で、(1)「領域専門演習」の作品を長嶋ゼミで議論しつつ制作(支援)する、(2)「領域専門演習」は必須科目ではないので取らずに自主制作を進める、といういずれの対応も可能です(両方とも過去に実例あり)。

後期「総合演習I」からは長嶋ゼミを希望すれば「本ゼミ」として、基本的に水曜2限に3回生/4回生/院生まで含めて一緒に行うゼミミーティングに参加するとともに、それぞれの制作を進めます。総合演習I/総合演習II/卒業制作の最終週は、インタラクション領域の最終合評に参加しますが、長嶋ゼミの学生はプログラムの最初に発表プレゼンして、そこまでは長嶋も参加して成績評価も行います。長嶋はその後、同日に行われているビジュアルサウンド領域の最終合評に移動しますが、学生はそのままインタラクション領域の最終合評に参加します。

以上